

# 武家政治と東アジア

浜松市立神久呂中学校 野島 恭一

## 1 はじめに

今回の教育改革で導入された絶対評価に、どのように取り組まれているのでしょうか。ここでは、「到達度評価」の考え方を実践する具体例を、「中世」の単元を例に紹介したいと思います。

## 2 絶対評価の理解の誤り

絶対評価導入について、一番心配になるのは、絶対評価が、現実にはテストの点数（それも知識理解中心）の序列という巨大な相対評価になりはしないかということです。いくつかの学校の様子を聞いてみると、この心配が現実になっています。

絶対評価は、正確には「到達度評価」といふべきで、「目標を達成しているかどうか」で評価することでしょう。ということは、大切なことは点数ではなく、評価規準（目標）を厳密に設定し、その目標への到達の可否を判定することが評価であるということ、さらに、従来の相対評価は序列をつけることが目的でしたが、今回の指導要領は最低基準で、その目標に到達させる責任が教師にあるということです。

## 3 授業構想と目標と評価問題を連動させる

今までも観点別目標という形で単元の目標を立てては行われていました。しかし、授業の出口の評価の段階になって相対評価と知識理解中心の入試問題があるために、目標と評価がつながらなかったのです。どんなに楽しく豊かな授業をしても、「結局テストで点を取れなきゃね」で片づけられていました。

到達度評価の本格導入で、やっとこの矛盾が解決されます。逆に、教師にとってはきちんとした

注意1 テスト作成と採点の仕方について

- 従来のテストは目標と連動しないことが多かったのです。知識理解偏重になったり、凝って作ると奇をてらう問題になりがちだったのは、観点別目標の評価規準と連動していなかったため、つまり授業構想の設計図と結びついていなかったためでしょう。
  - 観点別目標のマトリックスの左はしの欄でテスト素案を作ると、目標を踏まえた、バランスのとれた問題構成を考えることができます。
  - テストは、答案用紙の採点欄を観点別に作ります。
- | 番号 | 解答欄 | 思考 | 資料 | 知識 |
|----|-----|----|----|----|
| 1  |     | 1B |    | 1B |
| 2  |     | 1A |    | 1A |
- 生徒にも採点終了後このマトリックス用紙を配布し、自分がどの目標で到達でき、どこでつまづいているか反省させます（自己分析表）。レポートとあわせてポートフォリオに保存します。

年間指導計画（Ⅱ期）教科（社会） 1年（週時数 3時間 I期総時数 45時間）(抜粋)

月	単元名(時数)・単元指導計画		評価規準 B・・・完全習得させるべき基礎基本の到達規準(行動目標)		
	時	授業テーマ	①観点1 (関心意欲)	②観点2 (思考系)	③観点3 (技能系)
9	44	歴4 中世オリエンテーション	中世の四つの風景から		
	45	①律令国家の変質～貴族	摂関政治・院政の様子		
	46	② " 地方・民衆	荘園のようす		
	47	③誰が武士になったか	在地領主・武芸職能2面から		
10	48	④鎌倉幕府の成立	2重権力の政治史		
	49	⑤東アジアの変動～元寇	東アジア史概観		
	50	⑥鎌倉から室町へ	中世前半政治史概観		
	51	⑦室町から戦国へ	中世後半政治史概観		
	52	⑧中世の四つの風景～下剋上	なぜ幕府が弱かったか(武士)		
	53	⑨ " " " " " "	なぜ幕府が弱かったか(農民)		
	54	⑩ " " " " " "	生産力の向上		
	55	⑪ " " " " " "	農業・手工業・貨幣経済		
	56	⑫ " " " " " "	倭寇と悪党		
	57	⑬ " " " " " "	アイヌ琉球～東アジアネット		
	58	⑭ " " " " " "	貴族仏教から民衆の救済へ		
	58	⑮ " " " " " "	文化と娯楽		
11	59	⑯中世のまとめ	ものけ姫の時代:中世～近世		
	60	⑰中世のまとめ2	自己追究のまとめ		

到達度評価が求められるわけです。どんな目標を立てて授業を行いその結果生徒がどれだけ目標に到達できたかをきちんと示すことが教師の責任となるわけです。今までのように「君は授業は一所懸命がんばったけどテストがだめだったからね」という言い方は通用しなくなります。目標に連動したテストを作らなければいけないわけです。

教師は授業計画・観点別目標と評価問題を連動させて、予め授業後の評価方法まで見通したプランを立てることが必要になります。

## 4 単元の目標(題材観)を上位と下位の評価規準にわけて評価問題を作る～中世の例～

指導要領の中世の目標は

- ア 武士政権の成立と展開を国内の歴史事象を通して理解するとともに、東アジア世界との関わりに気づかせる
- イ 農業の発展を基礎に都市や農村の民衆の力が上昇し新しい文化を生み出したことを理解させる

の二つです。このことを踏まえ、単元のねらいを以下のように考えてみました。これが授業構想を考える際の授業者(私)の題材観です。

1. 律令国家が変質し、中央の摂関政治・院政と地方の国司・院政を生み出した流れを説明できる
2. 武士登場の理由を土地の所有・武芸職能の2面から説明できる
3. 鎌倉幕府成立(源平の内乱～承久の乱)の動きの必然性を在地領主の権力自立という視点から説明できる
4. 室町幕府が弱体だった理由を農業生産力の成長を基盤とする悪党に見られる在地勢力の成長、半済令を用いた守護による在地勢力の取り込み、その結果としての守護大名の連立政権という幕府の権力構造そのものの理由から説明できる
5. 陸の悪党・海の倭寇・土一揆など中世を彩る民衆の動きを、農業・手工業・商業の発展を土台に農民・職能民の力が成長していくことから説明できる
6. アイス・琉球・身近な地域の中世資料を通して、近世的秩序に支配される前の人々が自由に交流していたことを理解できる
7. 比叡山の学僧から大衆救済へと転換した新仏教の指導者に共通する信仰の形から、民衆のくらしが文化や思想の中心になってきたことを説明できる

### 注意2 評価方法について

- 実際の評価は、テスト・レポート(作品)・授業・ノートなどの場面に分かれます。このマトリックスでは、その評価手段も記してあります。なお、テストは目標の数に合わせて作るため、100点あるいは50点満点にする必要はありません。これは相対評価の呪縛を抜け出すのに有効です。
- テストは答案用紙を観点別に作り、採点后正誤表に○×を入れます。正誤表は、他の評価項目とあわせて下図のような目標到達一覧表になります。問題の正誤はそのままその目標の到達の可否の判定となります。
- 生徒名簿の横軸に、観点ごとの目標番号をいれ、その目標の到達の可否を記号(マーカー)でつけます。A目標OKは赤 B目標OKはピンク A目標不可は無着色 B目標不可は青で着色すると、その生徒の観点ごとの到達度が一目瞭然となります。

氏名	関		思		賢						知									
	1B	1A	2B	2A	1B	1A	2B	3A	4B	5B		5A	6B	6A	1B	1A	2B	3B	4B	1
1 野島 恭一		○	○	×			○	×	○	×	○						○	○		
2 野島 健一		○	○	○			○	×	○	○	○						○	○		
3 野島真知子		○	○	○			○	×	○	○	×						○	○		

- 各観点別B目標の8割(6評価項目なら4～5)が達成でき、A目標のいくつかが達成できていれば、その観点はA判定、B目標6割達成でB判定、5割以下ならC判定というところが平均的な評定基準でしょうか。(今年度の1学期はほぼこんな感じでした)
- このやり方だと、生徒を点数でみるのではなく、目標ごとの到達度で見るとどの項目が達成されていて、どこで躓いているのか一目瞭然となります。

このねらいを、基礎基本の内容(B目標)と発展的な内容(A目標)という二つのレベルの目標に分けて、単元構成と観点別目標に展開し、評価と連動させたものがこのマトリックスです。

テストは観点別に採点され、レポートなど他の評価手段の結果と併せて観点別目標の到達度を個人の生徒ごとに一覧にします。ノウハウを詳述できないのが残念ですが、基本は評価手段・評価項目と目標(評価規準)を一致させるということにつきます。

HYM96731@biglobe.ne.jp

A・・・より発展して学ぶ上位目標	
④観点4 (知識系)	⑤テスト問題
社会的事象の知識理解 ● 1B律令制から武士政権成立までの流れを摂関政治・国司・院政・地方政治の乱れ・武士の登場の用語を使って説明できる 7A1 1A その用語の内容を詳しく知っている 7A2 ● 2B鎌倉幕府～南北朝～室町～戦国までの流れを、悪党・倭寇・守護大名・下剋上などの用語と足利尊氏・後醍醐天皇・義満の語句を使って説明できる 7A3-1 3A その用語が代表するその時代の事象を詳しく知っている 7A3-2 ● 3B 日本の中世世界の背景	1 武士が生まれるまでの流れを示す次の図を見て①～④に当てはまる語句をア～エから答えなさい。 律令制 → ① → ② → 農民が逃亡 ↓ ① 口分田の不足から② ↓ 出世できない貴族は③ → ④ ア藤原氏が官位独占 イ地方で国司になる ウ荘園が認められる エ地方政治が乱れる 2 上の図の流れを詳しく説明しなさい 3 中世の年表(略)を見て以下の問いに答えなさい 3-1 空らん当てはまる語句を答えなさい 3-2 上の語句から、一つ選んで詳しく説明しなさい 3-3 承久の乱で、わずか17騎で出発した幕府軍が大軍に膨れ上がって圧勝した理由を「御恩と奉公」という言葉を使って説明しなさい 3-4 東アジアの略年表と比較して分かることを説明しなさい 3-5 元寇でなぜ日本が負けずすんだか、を当時の東アジアの民衆の動きと関連づけて説明しなさい 4 遠州地方の武士の動きのパネル図(略)をみて、以下の問いに答えなさい